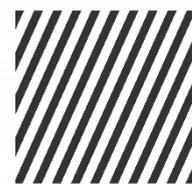


地域活動の活性化に向けたワークショップ

# 庄栄地区ニューズレター

Vol.01 令和4年9月

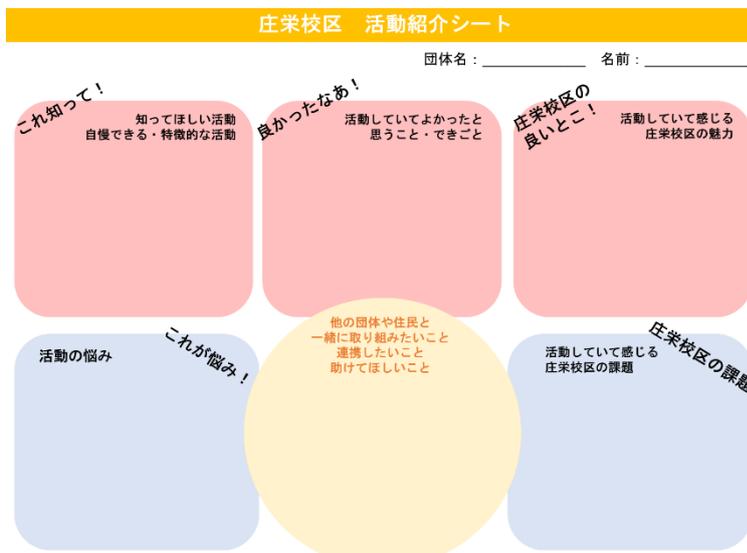
次なる  
茨木へ。



庄栄地区では、「コロナでストップしたコミュニケーションを復活させよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和4年8月28日（日）に開催した第1回のワークショップでは、4つのグループに分かれて2つのワークを行いました。

## ワーク1：お互いのことを知ろう

ワーク1では「活動紹介シート」を使って、まずはグループのそれぞれのメンバーのことを知るところからスタートしました。活動紹介シートには、「これ知って!」、「良かったなあ!」、「庄栄地区の良いところ!」、「これが悩み!」、「庄栄地区の課題」などの項目があり、グループのメンバーが庄栄地区に対して普段感じている本音を共有しました。



### ◆第1回実施概要

日時 2022.8.28（日）18:00~20:00

会場 庄栄コミュニティセンター

参加者数 25人

### プログラム

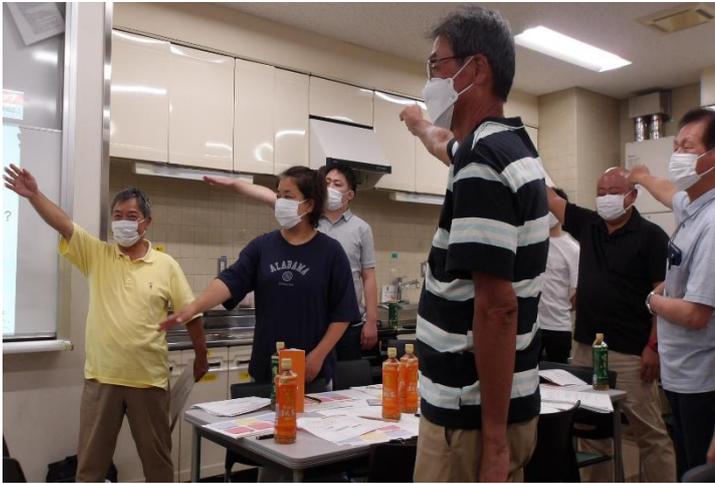
- 1 会長挨拶
- 2 ワークショップ趣旨説明
- 3 手上げゲーム（アイスブレイク）
- 4 グループごとに自己紹介
- 5 ワーク①:お互いのことを知ろう
- 6 ワーク②:庄栄地区のこれからを考えよう
- 7 グループ発表（全体共有）

### ○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	庄栄校区の今「良さ・良かったこと」	庄栄校区の今「課題・困ったこと」
1	・地域内の繋がり ・子どもとのふれあい ・子育てのしやすさ	・今の活動をどう継続させていく？ ・自治会員の減少が心配（災害時など）
2	・住みやすさや利便性 ・公園がキレイ ・地域のことを熱く考えている人が多い	・人・コミュニティの希薄化 ・防犯・交通安全面の課題
3	・人や人情 ・交通利便性 ・子どもの見守りや防犯	・地域組織の役員の担い手不足 ・コロナ禍での活動の停滞
4	・高齢者向けの活動が盛ん ・活発な地域活動 ・地域活動の多様さ	・自治会運営の負担 ・老人会や子ども会の廃止 ・地域活動に対する負担感

## ワーク2：庄栄地区のこれからを考えよう

ワーク1でお互いのこと知った後、ワーク2では、**もっとこうなってほしい・こんなことがしたい**という、**庄栄地区の将来像**について意見を出し合い、最終的にもっと深めていきたい**4つのテーマ**が導き出されました。



### ○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	庄栄地区に将来こうなってほしい・こんなことをしたい
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・災害対応に備えて、災害時行動シミュレーションをしてみよう。</li><li>・子育て世代と地域との接点をもっと増やしていきたい。</li><li>・今の若い人は忙しく、共働きも多い。若い人に合った地域とのつながり方を考えよう。</li></ul>
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・考え方を改めてチャレンジ！新発想でつくるふるさと祭りを考えよう。</li><li>・過去の活動にとらわれない新しい活動を発掘。</li><li>・地域の繋がりをもっと増やしたい。特に子どもや子育て世代の親と地域のつながり。</li></ul>
3	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学生や単身者とももっと関わっていききたい。</li><li>・老若男女問わず、いつ行っても誰かがいるような居場所があってほしい。</li></ul>
4	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どものうちから地域活動に参加する仕掛けづくり</li><li>・地域の防災力をもっと高めたい（庄栄は自主防災会がない）</li></ul>

### ○第1回ワークショップで導き出された、もっと深めたい4つのテーマ

**「子育て・子育て」**

**「地域の居場所づくり」**

**「にぎわいづくり」**

**「安全・安心」**

次回ワークショップは**9月25日（日）**。もっと深めたい4つのテーマについて、現状や課題を出し合った上で、**課題を解決するための、もっと楽しく続けていくためのアイデア**を出し合うワークショップを行います。